



吉備中央町

議会だより

第43号

平成28年1月20日発行
発行／岡山県吉備中央町議会
〒716-1192
岡山県加賀郡吉備中央町
豊野1-2
TEL.0866-54-2081
FAX.0866-54-1366
編集／議会広報編集委員会

TOPICS

平成26年度決算認定	3
7議員ここが聞きたい	5
追 跡	13



年頭あいさつ2016



議長

熱田 康治



あけましておめでとうございます。
 町民皆さま方にはご家族
 おそろいで、輝かしい新年
 をお迎えのこととお喜び申
 し上げます。

昨年1年を振り返ってみ
 ますと、町として当初計画
 していた事業については概
 ね順調に実行できたと思っ
 ています。このことは、町
 民皆さまと全議員のご理解
 とご協力がいただけたおかげ
 だと思っています。誠にあり
 がとうございました。

一方、議会運営に当たり
 ましては、前年からの課題
 （議会基本条例の制定、一
 般質問の一问一答など）を
 消化できずに、年越しとな
 りました。町民皆さまに、
 申し訳ない気持ちで一杯で
 ございます。あらためて私
 の力不足を痛感していま
 す。今年こそはなんとして
 も実行できるべく、頑張る
 所存でございます。

そして、今年度から新し
 くなる町の総合計画、過疎
 地域自立促進計画（平成28
 年度～32年度）を町民の代
 表者、執行部、議員で町民
 の皆さまが安心して暮らせ
 るものになるように審議中
 であり、3月にはでき上が
 る予定です。
 また、議会運営に当たり、

副議長

西山 宗弘



新年あけましておめでと
 うございます。

皆さま方にはご家族おそ
 ろいで新年をお迎えのこと
 とお慶び申し上げます。

また、皆さまには日頃よ
 り議会活動にご理解とご支
 援を賜り、心より感謝申し

議員一人ひとりの意見を尊
 重しながら、町政に取り組
 んでいきたいと考えていま
 す。町民皆さまのご意見を
 いただければ、ありがたい
 と思っていますのでよろし

くお願いいたします。
 最後に当たり、皆さまの
 今年のご健勝、ご多幸を祈
 念させていただきます、年頭の
 挨拶とさせていただきます
 す。

上げます。

昨年は長雨や集中豪雨、
 猛暑日など異常気象や記録
 的と言った言葉が飛びかつ
 た一年でした。関東・東北
 地域での集中豪雨など全国
 各地で自然災害が相次ぎ、
 被害に遭われた皆さまに心
 よりお見舞い申し上げます。
 また、マイナンバー制
 度、安全保障関連法、TP
 Pの大筋合意、改正農協法
 の成立など、政治への関心
 も高まった一年であったと
 感じています。

吉備中央町では、太陽光
 発電の売電開始や中学校跡
 地への企業誘致、ふるさと
 納税の予想以上の人気など
 明るいニュースが広がりま
 した。これもひとえに皆さ
 まの格別のご理解のたまも
 のと、議員一同厚くお礼申
 し上げます。

今年には地方創生のスター
 トの年であり、吉備中央町
 まち・ひと・しごと創生総
 合戦略を策定し、人口減少
 と地域経済縮小リスクを克
 服し、豊かな吉備中央町ラ
 イフを目指そうとしていま
 す。

私たち議員も一丸となつ
 て、先進的な事例等も視野
 に入れ、研究・検討を重ね
 町民の負託に答えていく所
 存であります。皆さま方
 の指導・鞭撻を賜りますよ
 うお願いいたします。

結びにあたり、今年が町
 にとっても、町民の皆さま
 にとりまして、素晴らしい
 年となりますよう心から
 ご祈念申し上げます。

平成26年度決算を認定

12月定例会

第7回定例会は12月2日開会。平成26年度決算審査報告の他、条例改正、平成27年度補正予算等の議案13件が上程され、「吉備中央町エコセンター条例について」を継続審査とした以外は原案通り可決した。また、委員会に付託された陳情2件は、それぞれ趣旨採択、不採択とし、16日閉会した。

平成26年度決算審査報告

9月議会で決算特別委員会に、付託された平成26年度一般会計並びに特別会計の決算は、10月26日から11月12日まで5日間にわたり、副町長、各所属長並びに事務局長立ち会いのもとに慎重に審査した結果、各会計とも各々適正に執行されていると認定し、次の事項を意見として要望した。

1、一般会計

多額の不用額を生じている。妥当性を吟味検討し、貴重な財源が有効に活用されることを望む。

2、税と料

負担の公平を確保する大前提から、収入未済額や長期滞納者からの徴収に臨みたい。

3、補助金等

運営や事業補助活動内容などの把握を行い、見直しを含めた対応をされたい。

4、事務事業の取り扱い

迅速かつ効率的、効果的な執行に留意されたい。

条例関係

◎固定資産税の特例に関する条例

◎介護保険条例

◎税条例

マイナンバー導入に伴い、一部改正を行うもの。

◎国民健康保険税条例

地方税法の改正に伴い、一部を改正するもの。

◎エコセンター条例

①水分調整材に副資材として珪藻土^{けいそうど}を受け入れる。

②利用料金を定める。

平成27年度補正予算

◎一般会計

1億2100万円増

歳入では、地方交付税の増額。歳出では、まいたけ菌床栽培施設整備事業等の増額。

◎国民健康保険特別会計

増減なし

実績に基づく返還金等。

◎介護保険特別会計

2120万円減

総務管理費、介護認定審査会費、保険給付費、地域支援事業費、介護予防費等。

◎再生可能エネルギー事業特別会計

60万円増

岨谷2号発電所の予定通りの売電、支払リース料の増額。

◎下水道特別会計

◎農業集落排水事業特別会計

計

◎上水道特別会計



岨谷5号売電開始

ピックアップ

審議

ピックアップ

条例改正

マイナンバー関係条例

問 制度導入で町民への影響はあるか。

利用に際しての十分な周知が必要ではないか。

答 カードの作成は、現時点では本人の自由。

告知は、利用も含め広報紙等で伝え、各地域での説明会等も行っていく。

問 町内での発送は完了し、全員に届いているのか。

答 受け取り拒否が130数件、配達不能が160数十件、合計で400件前後が届いていない。

問 個人カードの発行準備はできているのか。

答 準備はできている。

税条例

問 マイナンバーを記入しないで申請した場合、受理されるか。また、その場合の罰則はあるのか。

答 書かなくても申請は受け付ける。記載の願いはするが、罰則規定はない。

問 マイナンバーの所有権はどこに属するのか。

答 個人に付与されたものであるが、戸籍等と同様に活用できると考える。

エコセンター条例

問 第1条の「目的」が現行条例より簡略になっている。産業廃棄物処理へ道を開くものではないか。

答 目的・理念は変わっていない。県の指導でこの文面になった。水飴製造に使用した珪藻土

以外の産廃が入ってくることはない。

問 汚泥を処理した珪藻土は重金属を含み危険である。成分の検査は行っているか。

答 浄化槽の汚泥ではない。食品製造の濾過に使用して糖分が付着していることをメリットに導入する。

問 食品が必ずしも安全とは限らない。重金属の検査は行ったのか。

答 確認できていないので、後ほど報告したい。

討論

反対 設置において、現行条例を踏襲することが保証されていない。

賛成 執行部の方針が示されているので、問題ない。
反対 他の材料が入れられる不安が拭えない。

動議

継続審査を提案する。

(賛成多数で可決)
産業建設常任委員会に付託



生産が追い付かない菌床栽培

一般会計補正予算

問 まいたけ菌床栽培の施設を拡充する見通しは。

答 増設で生産量を増やして、赤字の解消を図る計画。

農業集落排水事業特別会計

問 新規加入の金額、下加茂・上加茂の現在の加入率を尋ねる。

陳情審査

答 供用開始後の加入者負担金は40万円と1%。

◎スクールバスの運行経路・運行規定策定にあたっての陳情
趣旨採択（賛成多数）
◎「中国」の呼称の適正化を求める陳情
不採択（賛成多数）

ここが聞きたい

7 議員が一般質問

一般質問とは、町の政治・行政全般にわたり町長の方針や見解、説明を求めるものです。議員は質問により自己の意見を表明できます。

「議会だより」では1議員25分の質問を、原則として議員自身が900字程度に要約したものを掲載しています。全体をお読みになりたい方には、議会事務局で議事録を公開しています。

頁	質問議員	質 問 要 旨
P 6	新谷 富彦	1. 町有財産（建物）の維持管理について
P 7	難波 武志	1. ふるさと米の出荷状況と来年度の取り組みについて 2. 園児、児童、生徒の警報発令時の対応について 3. 行政区ごとの委員や役の見直しについて 4. 通学路（歩道）の整備について
P 8	日名 義人	1. 「TPP 大筋合意」下の課題と町の農業振興について 2. 高齢者福祉・介護保険制度改定について
P 9	森下 誠一	1. 若者定住のための住居対策について
P 10	西山 宗弘	1. 定住促進について 2. 保育行政について 3. 教育行政について 4. 道の駅について
P 11	草地 博	1. 国の新規事業について 2. ふるさと納税について
P 12	山崎 誠	1. TPP 発効に伴う町農業への影響と対策について 2. スクールバスの委託業務について 3. 育英資金（奨学金）制度について

（質問順はくじ引きによる）

問 老朽施設の管理や修繕は

答

維持管理の年次計画が必要



新谷 富彦

問

新町発足後10年以上経過したが、建物は合併以前の物件がほとんどである。

過去のような木造ではなく、鉄筋コンクリートや鉄骨製になって耐久性は飛躍的に伸びている。

一時期、国の奨励もあり建物が多く建設され、当時は箱物行政とも言われた。

現在は反省に立ち必要最小限に押さえられているが、保有する建物の修理、修繕に追われる時が来ると

考え、3点について伺う。

①吉備中央町の施設の物件数はどのくらいあるか。

②耐用年数を越えたものがあれば長寿命化で、大変喜ばしいことだが、年数を越えた物件がどのくらいあるか。

③維持管理費は必要であるが、これに対する年次計画も必要ないか。

答

山本町長

合併後の公共施設は352施設で517棟、耐用年数を越えた物件219棟で全体の約40%を占める。

公共施設の維持管理は老朽化に比例して費用は拡大し、今後ますます膨らんでいくことは確実で、国を含め全ての市町村が直面して

いる大きな問題である。維持管理の年次計画が必要だ。

国において、新設から上手に使うことへの重点化が課題との認識から、平成25年11月に長寿命化基本計画を策定した。

各地方公共団体も国の動きに合わせ、公共施設の総合的、計画的な管理を推進し計画策定に取り組むよう平成26年4月に総務大臣より要請があった。

これにより各市町村とも平成28年度中に策定すべく努力している。

平成27年度予算に、公共施設等総合管理計画策定業務に120万円計上し、平成28年度中の策定に向け7月から作業を進めている。

答

山根総務課長

町が所有する公共施設の全体の状況を把握し、現況、将来の見通し、管理の基本的な方針を定める必要がある。計画策定にあたり、土地、建物などの固定資産台帳を整備する必要があるが、平成22年に固定資産台帳の

整備が完了している。台帳には建築年月日、耐用年数、構造、減価償却費等のデータが記録されているので、

ある程度の現状分析はできるが、計画を立てるには不十分である。

本年度から新たな情報を加え各施設がどのような状態か客観的な分析を行う。

結果を基に長期的な視点



目立つひび割れ 公民館

に立ち、施設の更新、統廃合、長寿命化対策、財政負担の軽減、平準化、更には施設の適正な配置を実現するための計画にしたい。

現在の進捗状況は、施設の老朽化や利用状況の実態把握を行っている。



難波 武志

問

来年度のふるさと米は

答

本年度とほぼ同規模想定

問

今年は天候不順が米の作柄も良くな
く、ふるさと米への全量出
荷が厳しい農家があったと
聞くが、出荷状況はどうな
のか。また、来年度のふる
さと納税の取り組みはどの
ように考えているのか。

答

山本町長

岡山県南部の水稲
の作況指数は96でやや不良
であり、ふるさと米の出荷
を心配していたが、ほぼ予
定どりの出荷があった。
来年度も基本的には今年度
と同規模の事業量を想定し
つつ、更なる充実を目指し
て努力していきたい。

問

警報発令時の対応は

最近、台風や大雨
による警報が度々発
令される。園児が園にいら
る時に警報が出た時には保護
者に迎えに来るよう連絡を
しているようだが、多くの
保護者は仕事に就いている
ため、毎回迎えに行くこと
が難しいようである。子ど
もたちの安全確保と保護者
の仕事が両立できるような

対応はないか。

答

津島教育長

午前6時以降に警
報が出た場合、各園・校で
状況を見ながら安全に下校
できるよう対応することと
している。また、その際は
保護者に連絡して無事下校
したことを確認している。

警報の発令は重大な危険
が高まっている場合であ
り、園や学校では子どもた
ちを安全かつ早急に保護者
の元に引き渡すことが求め
られる。ご理解をしていた
だきたい。しかし、保護者
が迎えに来られない時は、
学校や園で安全を最優先し
て一時的に預かっている。

問

行政区の委員等の
見直しは

高齢化の進行によ
り委員や役が回って
きても対応できない家庭が
増えている。また、戸数が
少なくなり、複数の役を持
たなければならぬ地区も
ある。
抜本的な見直しが必要で
はないか。

答

町長

少子高齢化や人口
減少に伴い、小さな組織で
は担い手や後継者が不足し
大変困っている所がある。
困っている組織同士が協議
をし、組織の再編をしてい
る所が多くある。町もこの
ような問題点を含めて組織
の再編をしていく必要があ
り、現在自治組織検討委員
会の答申を受け組織の再編
に向けた準備をしている。

問

歩道の整備は

歩道の多くが通学
路となっているが管

答

町長

理できていない所がある。
また、どこまでが公の土地
なのか私有地なのかはつき
りせず、整備されずに手つ
かずの所もある。安心して
使用できる歩道にすべきで
はないか。
年1回の草刈り
と、道路や歩道に異常が発
見された場合は、その都度
対応している。誰の管理地
かわからない箇所について
は台帳により管理の範囲を
確認させていただき明確に
していきたい。



歩行者に安全を

問

TPPの下での農業振興は

答

特色ある農産物と担い手育成



日名 義人

問

TPP「大筋合意」も多国籍企業優先で

秘密交渉の結果だ。今後各国間と各国内の矛盾表出は必至で批准も不透明。政府の国会審議抜き「政策大綱」も内容は事後対策。農林分野を見ても、「規模拡大と効率化」(中山間地・小規模農家切り捨て)と新味無し。

①これでは撤回しかない、いよいよ正念場の情勢か。

②安定的食糧の確保(食糧主権)は国民的課題、中山

間地農業の比重は高いし、国土保全への貢献度も大きい。改めて町の農業・農村振興の意義を聞く(参・国町村長会の決議)。

③町行政は政策大綱追隨か独自対応かの立ち位置が問われる。

④専業・兼業、小規模農家共に農業と村を守ることを願いもし、事態の憂慮も。今、農家村に依拠し、知恵を集める体制づくりが不可欠では。

答

山本町長

町も全国町村会もTPP反対は不変。中山間地の町は大筋合意は大変心配であり、事態は正念場だ。大綱の農林対策は生



若い力でパワーアップ

産者の競争力強化(産地パワーアップ事業)・大規模化(農地中間機構の拡充)、重要5品目の経営安定なども、また、米の関税維持と言ってもアメリカ・オース

トラリア米の無関税輸入枠新設で、国産米価格下落の可能性が大。中山間地のみならず、条件が整った地域にも深刻な打撃の懸念がある。これでは日本の食糧自給率は低下し、農山漁村の美しさ・活力を取り戻す地方創生にも支障を来たし、農業・農村の多面的機能喪失に繋がる。

町は「農業は食糧供給とともに多面的機能を持つ、町の重要産業」と位置づけている。特色のある農産物づくり、農業の面白さを実感できる担い手育成支援策を検討していく。

高齢者福祉・介護保険

問

介護保険導入から15年。26年6月の介護保険法の改悪(要支援1・2が給付対象外)で個人も自治体も負担増に。専門家マスコミも事態を重視する事態だ。(さらに「経済財政運営と改革の基本方

針2015(閣議決定)」は要介護1・2までも介護給付対象外に)。こうした下で現サービスの堅持を望む町民にどう応えるか。町の実情と今後の課題を聞く。

答

町長

町全体65歳以上(一号被保険者)4620人、内介護認定者は1154人(要支援321人、要介護833人)。だが町内には入所・通所施設も多く介護サービス利用も高い。今後、要支援1・2は地域支援事業でサービスを実施していくが、公的サービスで賄いきれない部分(交通手段、買い物等)は関係機関と協働しながら地域に合った支援事業を推進したいが、平成30年からの要介護1・2が給付から外されるのは厳しい。行政、介護事業者、関係機関など、町民連携で現状サービス低下が無いよう協力し合っていると考えている。



森下 誠一

問

公営住宅の大幅な増設を

答

若者定住住宅を整備

問

定住対策ではここ数年かけ加茂市場に若者向け住宅12戸が完成。

そして民家の空き家斡旋に重点を置いた住居対策のようであるが、定住対策では住居が最も重要な基本的な課題であると思われる。

若者が住みたいような住宅がないため、町外に住み町内に通っている。朝の通勤時には総社、岡山からの幹線道路をおびただしい数の通勤者が町内に入ってくる現実がある。

町は「まち・ひと・しごと」で、平成31年までに町営住宅、単身者等住宅1棟ずつ整備するようであるが、住宅対策を重要課題と位置づけ、公営住宅を大幅に増設すべきではないか。例えば、長野県下條村の若者定住促進住宅・雇用対策用集合住宅や、隠岐海士町の民家改修借上げ方式などで早急に対応すべきではないかと思われる。

答

山本町長

町営住宅は平成27

年4月1日現在、課税所得の月額が15万8000円以下の方が入居できる公営住宅が100戸。また、課税所得の月額が4万7000円以下の方が入居できる特定公共賃貸住宅が18戸で、現在の空き家は公営住宅2戸特定公共賃貸住宅1戸で、満室に近い状況で、3戸については募集を行う。8棟16戸を加茂市場に予定し、12戸完成43名入居している。27年度も1棟2戸を建築している。

若者定住対策では住居は最も重要であると考えており、住居なくして新規の方は入ってこない。

公営住宅建設には公営住宅法により入居条件があり、住宅に困窮している人に健康的で文化的な生活を、安い家賃で賃貸する住宅と位置づけられていることから、若者を限定しての入居は難しい。公営住宅法で制限を受けないで、町で入居条件等を決めることが

できる若い家族向けの住宅と、単身向けの住宅を今後作っていきたく強く思っている。若い家族向けの住宅を少なくとも10戸程度、単身者向けの住宅を10戸程度は作る必要がある。場所には吉備高原都市の集合住宅用地を候補としたい。

住宅は早急に検討し実施しなければ、いろんなチャンス逃すと思われるので早急に進めていきたい。隠岐島の海士町では、行政が

空き家を借上げ改修後に移住定住希望者に貸し付ける制度がある。維持管理経費や権利の面で町での空き家借上げは考え難い。町有財産の建物が利用可能であれば、早めに住宅に改修等考えたい。

町内の事業所ともいろいろと情報を提供しながら若い人たちが定住をしていたるように計画を練りたい。



若者定住 すまいから

問 定住見学者への助成は

答

移住希望者ニーズに対応



西山 宗弘

への助成は難しい。交通費は検討していないが、滞在費への助成は検討し、移住希望者のニーズに添えていきたい。

問

業者の評価額によつては、空き家等の売却に影響がある。また、定住を求めて来る人たちへの交通費や滞在費の助成が無いため、定住を考え直す人もいるようである。これらの実態は知っているのか。対応策を考えているのか尋ねる。

答

山本町長

売却価格等は所有者と慎重に協議を行うなど、より細かな対応をしていく。また、求めて来る方

入園待機者は

問

現在は園児も定員いっぱいのようなのだが、来年度は待機者があると耳にしたが、もしも待機者が出た場合どのように対応するのか。また、地元の保育園への入園が困難な場合も含めて尋ねる。

答

町長

入園者の数に対しての保育士の数が決まっている。それぞれの園で前もって余力の保育士の確保ができれば良いが、人員配

財産的物品の管理は

問

①中学校の廃校に伴い、入札等により大部分の物品は処分できているが、学校独自の財産的物品はどのような保存や管理をするのか。特に校章や寄贈品、記念樹等はどういうにするのか。

置からも難しいので、町全体で対応していくよう考えている。また、来年度は4月初の入園申し込みでは保育士の確保をし、希望する園に入所ができるよう準備している。

②上竹荘小学校の体育館の改修工事の現状と雨漏りによる壁や床の損傷度合いを尋ねる。

③公民館等の駐車場の目的外駐車について尋ねる。

答

津島教育長

①閉校時にリストアップし、卒業記念品や展示物等は該当者に連絡し、引き取ってもらったものもある。校章は建物に取り付けてあるため、そのままのものもある。校旗等は加賀中学校で保管している。寄贈品等は記念館など関係施設で保存していく。



大型車両のスペースを（道の駅かよう）

道の駅の駐車場は

問

道の駅かようの駐車場へ大型バスの出入り口や駐車スペースの確保がなかなかできないが、町の対応はどうしているか尋ねる。

答

町長

道の駅かようや、かもがわ円城については利便性を高めるためにも、引き続き関係機関に積極的に働きかけていきたい。

②体育館工事の進捗状況は12月初めで器具倉庫やトイレの屋根の防水工事は完了。本体の屋根は屋根材の取り付け工事がほぼ完了した。また、損傷の度合いは、目に見える範囲では舞台側の角壁面や管理用通路などで腰板の部分にシミがある。③来館者を最優先としているが、空きスペースがあれば状況に応じた対応をしている。



草地 博

問

「1億総活躍」いち早く情報を

答

「創生総合戦略」と整合を図る

問

国は新規事業として「1億総活躍社会」の実現を立ち上げた。町の総合計画なり過疎計画、更に地方創生総合戦略に関連すると思うので質問する。

この事業の担当大臣と推進本部長に本県出身の国会議員が就任された。県はもちろん、町にとっても大変有利な条件となると考えるが、町長の感想を尋ねる。

報道等によると、推進本部の基本的考え方は、従来の三本の矢（大胆な金融政策、機動的な財政政策、民間投資を喚起する成長戦略）の取り組みを継続して、賃上げを通じた消費の拡大、生産性革命に向けた投資の拡大等により経済を好循環することを進めていく、いわゆる成長と分配の好循環である。

すべての人がチャンスと希望を持てる1億総活躍社会の実現である。更に事業に向けた推進会議では、緊急に実施すべき具体策として、町でも課題とされている、少子高齢化対策である。

少子対策は、希望出生率1.8で非正規労働者の正規化や、子育て支援、教育の負担軽減を挙げている。

高齢化対策は、離職ゼロを目指し、介護と仕事の両立できる社会づくり、健康づくりを一層進め生涯現役社会づくりに官民挙げて取り組む国民運動を展開するとされている。特に市町村における介護予防や生活支援を県が積極的に進めようとしている。また、今後の検討課題として女性の活躍に焦点を当てた施策や、一度失敗した人の再チャレンジ、高齢者の就労のあり方、障害者、難病患者等の自立に向けた支援等幅広く行うとして、この春に1億総活躍プランを作成するとされている。

町長は、アンテナを高くしていち早く情報を得られるよう、その想いを聞きたい。

答

山本町長

今のところ報道以外の新しい情報は入っていない。

ない。地元国会議員がこの事業のトップに就任されていることは誠に喜ばしく、又、有利と思っている。

いずれにしても、今回取りまとめている「ひと・まち・しごと創生総合戦略」等との整合性を図りながら進めていきたい。

特徴ある呼び名を2年目を迎えたふるさと納税を尋ねる。

問

①返礼される「コシヒカリ」のイメージアップを図るために、特徴のある呼び名をつけてはどうか。

②返礼米を「コシヒカリ」だけでなく他の品種も加えて、幅広く農家支援をしてほしいと思うがどうか。

答

岡崎協働推進課長

①当初からも意見が寄せられているが、まだ2年目なので、まずは町産米の良さを売りしていきたい。

②この件も要望が出ているが、出荷体制が難しく、品種は一銘柄にしている。



ふやそうおともだち

問 TPP発効に備え対策会議を

答

会議設置はじっくり考えたい



山崎 誠

④ピオーネなど果樹農家への影響と対策。

答

山本町長

農業立町の町として大変危機感を持つている。政府は農家の保護策などの政策大綱を決定した。大綱は生産者の規模拡大や収益性の高い作物への転換を行う生産者支援強化などを行うこととなっている。TPP対策会議の設置はじっくり考えたい。

答

小室農林課長

①輸入米が増え、国産米の価格が下落するおそれがあり、輸入拡大分は政府が備蓄米として買い入れる。

②輸入牛肉と国産牛肉は品質・価格で差別化されており、影響は小さいと思われるが、生産農家の体質強化

問 TPP交渉は10月5日大筋合意に達したと発表された。加盟各国が批准しなければ発効しないが「日本農業壊滅の恐れ」との報道もある。町の農業・農家にどのような影響が予測され対策がとられるのか。また、町独自の農業のあり方を検討するためTPP対策会議を設置してはどうか。

①米農家への影響と対策。
②肉牛農家への影響と対策。
③乳牛農家への影響と対策。

スクールバスの委託

問

加賀中学校の開校で6台のスクールバスを購入し、民間業者に委託し運行している。委託料は約3000万円。

①委託業務の内容及び車両管理の範囲。

②委託外業務及び車両管理にどのようなものがあるか。

③委託外の経費はどのようになっているか。経費を考えると運転手を町で直接雇用することも選択肢としてあるのではないか。

答

津島教育長

①委託の業務は3つに分けられる。◎生徒の送迎。◎車両の保管・清掃・点検。◎運行業務の記録作成と報告。

②別業務として、小・中・幼・保の校外学習支援の運行。

③燃料、タイヤ、車検を含む修繕料など約930万円。運転手の雇用は経済面を検証し検討してみたい。

給付型奨学金の創設を

問

17歳以下の6人に1人が貧困の中にあるといわれている。所得格

答

教育長

①育英資金の原資は平成21年度をピークに減少が続いている。このままの状況が続くと原資に赤信号が付く。

②貸付件数・貸付額は年々増えており、26年度は31人1059万円。償還額は27年度約400万円を見込んでいる。

③現在、町費投入による原資増額は考えていない。

④給付型制度の創設は具体的に考えていない。今後の検討課題。



確実な点検、安全運行

追跡

あの時の質問
どねんなっとる？

過去の一般質問の追跡調査を行い、進捗状況・結果を報告する。
(平成25年6月定例会の質問)

質問

少子高齢化、核家族化が急速に進み、高齢者家庭や独居家庭が急増し日々の生活にも苦勞している人たちが増えている。町として交通弱者や買い物弱者の現状をどのように捉え、今後の対策をどう考えているのか。

答 弁 (交通弱者)

町では、幹線部分は路線バス、それ以外の地域は柔軟に対応できるデマンドタクシーの運行を開始している。



その後 (総務課)

加茂川地区で運行している乗り合いタクシー(デマンドタクシー)を賀陽地域の黒山、藤田、唐人山地区で運行実験を行った。水曜日と金曜日の週2回、6ヵ月間運行したが利用者が少なく本格運行には至らなかった。今後もふれあいタクシーなどの事業を継続するとともに、町内の交通体系の見直しを検討する。



たくさん買った買物ツアー

答 弁 (買い物弱者)

本年度御北地区でモデル事業として実施する。今後、概要が整った時点で国や県の補助事業申請への検討をする。



その後 (協働推進課)

御北地区では「御北買い物応援団」を立ち上げ、「買い物ツアー」「宅配・移動販売」「店舗」の3部会をおいて研究活動をしている。町内事業者の訪問販売、大手スーパーへの買い物ツアーを企画実施し、事業化の検討を重ねる一方、視察やサービスの研究など、更なる利便性の向上を目指している。



知恵を出し合い足の確保を

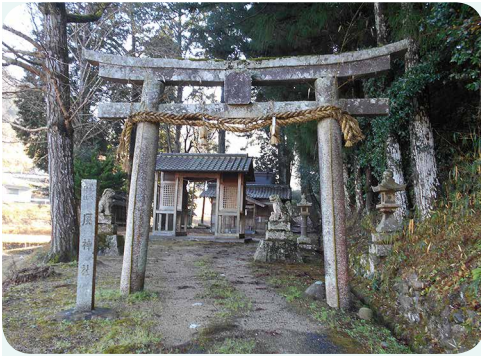
シリーズ

なんと読むのかな？

No.3

鼓山(つづみやま)

広面広奥に座します。昔、吉備津彦命が吉備の加夜国の鬼を平定に來た折、作戰に行き詰まり、雨坪神社(雨坪岩)、現在は風神社に参り、心を鎮め作戰を練りました。その時立っていた岩を鼓岩と言ひ、山を鼓山と言ひ、戦争に勝った後、命が開発した田を鼓田と言ひ、伝えられています。鼓岩は、



地蔵峠(じぞうたわ)

現在の吉備高原十字橋の辺りを地蔵峠と言ひます。寺跡の石柱、頭部の欠けた美しい宝篋印塔、三尺約90cmほどの高さで前面に僧を刻まれた二基の祠、地蔵が祀られていたようですが、吉備高原都市の開発によって完全に消滅しました。地蔵峠の塚から金の鳥が出入りしていたとされます。千木の人たちはここに向かつて虫送りをしていました。しかし、供養塔は現存する

神呂木(こうろぎ)

神呂木は立派な男神のことで、大きな軒を上げている家の意。神の宿る場所のこと。

また、この地を治めていた人が住んでいたか、「こうろぎ」という人が開墾した地とする説もあります。神呂木池は、吉川布郡の北方にあり、似た地名は下竹莊湯山周辺に数カ所あります。



との説もあるので他にも地蔵峠の地名があるかもしれません。

読みにくい地名

楽々森(ささもり)

狸々峠(じようじょうたわ)

勿田(はねだ)

上厩(うえまり)

鹿鳴し(かのろし)

門門(かぬぬき)

草地恒太著「吉備中央町の地名」より

お詫びと訂正

前号にて、塚峠文中、弥生時代を、「古墳時代」に訂正してお詫びいたします。



編集後記



明けましておめでとうございます。

昨年、スポーツ界ではラグビーやフィギュアスケートで歴史的快挙がありました。政治面では、TPPの大筋合意や限定的とはいえ集团的自衛権の行使を容認する関係法が多く批判を浴びながら成立しました。戦後70年、歴史的転換の年であったかも知れません。

紙面は字数を少し減らし、読みやすくなるよう心がけています。

今年も皆さまには健康で幸多い年になりますよう。

(山崎 誠)